

厳冬の秋田の魅力 を体感： 白一色に覆われた神秘的な雪国体験

30才で転職。大好きなツーリズムの世界に飛び込んだ卯年生まれの実業家宮田謙太郎さんにお話をお聞きしました。

劇団わらび座のミュージカルで お腹の底から大笑い

秋田県の東部中央に位置し岩手県と接する仙北市は、田沢湖町、角館町、西木村の3町村が合併して誕生しました。田沢湖・角館という2大観光地をもつこの町も、冬は静寂に包まれます。

今回は、たざわこ芸術村で日本の伝統芸能や民謡を現代感覚で表現した劇団わらび座のオリジナルミュージカル「竹取物語」をご覧いただき、その後で「わらび座講師」による健康体操で、疲れをいやすプランをご用意しました。プロの役者を教えている講師に手ほどきを受けるのも「たざわこ芸術村」ならではの特別企画です。

白銀の世界を マタギと歩く

2日目は角館から山間部へ1時間ほどの所にある阿仁の里「打当温泉」を訪れます。移動には秋田内陸縦貫鉄道という風情あふれるローカル線に乗車。車窓からの雪景色も味わい深いものがあります。車内で飛びかう乗客の秋田弁も旅情を感じさせてくれます。最寄駅の「阿仁マタギ駅」は山間の無人駅。列車が遠ざかると静まりかえった雪深いその景色はとて神秘的です。

打当温泉では山里料理の昼食や「マタギ体験」を用意しています。現代のマタギ継承者が体験談を語りマタギの気持ちになって実際に「かんじき」で雪深い阿仁の里を散策します。阿仁の里から戻ると、今度は上桧木内「紙風船祭り」にご案内します。武者絵や美人画が描かれた巨大な紙風

願い事を書きたい方はご案内しますと宮田さん。



船が真冬の夜空に舞う伝統行事です。灯火に浮かんだ紙風船光景は圧巻。地元の人にとってこの祭りは、厳しい冬を乗り越えるための「楽しいイベント」なのです。

厳冬の秋田の心温かくなる 夕食を堪能

3日目は、たざわこ芸術村周辺の農家を訪問します。秋田の農家の方々にはみなあたたかい人ばかりです。素朴な秋田弁が訪れた人たちの心を和ませてくれます。夕食まで農家に滞在し土地の方々と交流します。冬の農家で暮らした味わっていただくために、雪中野菜出し、雪遊び、漬物作業など、冬ならではの体験も準備してお迎えます。厳しい秋田の冬を「心温かく」乗り切る生活の知恵と技を体験できるのも魅力のひとつです。

そして農家の家族の方々との食事でもまた格別。料理の美味しさに会話も弾みます。大勢でとる食事が心も体も温かくさせてくれます。私は先日その農家の1軒にお邪魔させていただき夕食をいただく機会があったのですが、ふるまわれる料理の美味しさに久しぶりに食べすぎてしまいました。

宮田謙太郎

Miyata Kentaro

前職は物流会社の営業マン。30歳にして好きなツーリズムの仕事を目指し、関西から秋田わらび座にやってきました。自分自身の「創造力」を常に活性化させてくれる秋田県の実業家をみなさまにお届けします。

